

榛原総合病院 だより 12

2024

第 230 号

新任医師紹介



<11月赴任医師>

■救急診療科

まとう ふみたか
間遠 文貴 医師

年末年始の診療体制

12月30日(月)は、内科・腎臓内科・小児科・皮膚科・耳鼻咽喉科は診療を行います。その他の科は、**休診となります。**また、**12月31日(火)から令和7年1月5日(日)までは、全科休診となります。**

新年は1月6日(月)から通常診療を開始します。

休診日は救急対応となりますが、医師交代制のため各科の専門医師ではない場合がありますのでご了承ください。

※都合により変更する場合があります。詳しくはホームページをご確認ください。

「地域医療を支える はいなんの会」開催

地域医療を支える「はいなんの会」が、11月7日に榛原病院で開催しました。同会は、牧之原市と吉田町の住民が、地域の医療等について学び、地域の医療を支える一助となるよう活動するため、平成25年度に準備会を立ち上げ、平成26年9月に設立、会として活動を行っています。

今回地域医療に関する学習や支援活動の一環として、「手術支援ロボットサロア」に関する説明も行われ、会員の方々の関心を集めました。



手術支援ロボットサロア導入しました!!



高山医師



馬場医師

外科 高山 悟 (たかやまさとる)
馬場 卓也 (ばんばたくや)



この度、榛原総合病院に世界初の触覚のある手術支援ロボット SAROA が導入されました。

このロボットは、消化器領域では共同開発者である東京科学大学(2024年10月～東京医科歯科大学と東京工業大学が統合)で2例の実臨床評価が行われましたが、商用ベースで当院が世界初の実施となりました(10月に2例実施)。SAROAがこれまでの手術支援ロボットと異なる点は、空気ポンプ使用により触覚を持ち、組織を優しく把持することが可能となったことです。従来のロボットは強く把持することしかできず、これがロボット手術の弱点とされてきました。それを初めて克服したのが SAROA ということになります。また、日本製で比較的安価です。

一方ロボットアームが従来のものより1本少なく3本しかないため、術野を展開しにくいという欠点を有します。しかしその分アーム同士の干渉が起りにくく扱いやすくなっています。

榛原総合病院は恵まれた立地・環境にあるわけだけでなく、財政状況も大病院に比べて劣るため医療従事者(特に医師)の確保に難渋している現状があります。このような地域で若手医師・外科医を確保するのはもはや困難な状況ですが、手術支援ロボットを導入することで少しでも当院に興味を持っていただけることを期待します。また、この地域でも先端医療を届けられるという点で当院での SAROA 導入は大きな意味を持つかと考えます。当面は結腸癌手術での保険診療となりますが、ロボット手術の専門トレーニングを終えた認定医師が手術を担当し、将来的には直腸癌や胃癌手術にも適応を拡大していく予定です。

※詳しくは当院外科ホームページをご覧ください。



<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。